

「令和7年度病害虫発生予報第3号」の発表について

○今後の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稲では、イネミズゾウムシの発生が、北陸の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 麦では、赤かび病の発生が、関東、甲信及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ いもでは、アブラムシ類の発生が、北海道の一部地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、コナガの発生が、北海道、北東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹カメムシ類の発生が、北東北、南関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、オオタバコガ等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう1か月の予報（6月5日付け）では、気温は全国で高いと予想されています。降水量は、北日本、東日本及び西日本ではほぼ平年並、沖縄・奄美で平年並みか少ないと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL: [気象庁 Japan Meteorological Agency](https://www.jma.go.jp/jma/)（外部リンク）

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
イネミズゾウムシ	北陸	北関東、四国、北九州
いもち病		近畿、四国、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・イネミズゾウムシの発生が、北陸の一部の地域で多くなると予想されています。ほ場を注意深く観察し、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、発生状況に応じて防除を実施してください。特に育苗箱施用を実施していない場合は、発生に注意してください。

・いもち病の発生が、近畿、四国及び北九州の一部の地域でやや多くなると予想されています。今後、断続的な降雨がある場合には本病が急激に発生するおそれがあります。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて穂いもちに進展しないように防除を実施してください。なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は、昨冬の気温が高かった発生地域では、多くの個体が越冬しているおそれがあるため、一層の被害の発生を警戒する必要があります。被害を抑えるため、移植前に取水口・排水口にネットや金網を設置し、スクミリンゴガイの侵入を防止してください。水田内の発生が多い場合には石灰窒素の散布が有効ですが、石灰窒素は水稻の生育にも影響があるため、使用時期や使用方法、施肥量等を確認のうえ実施してください。また、移植時は薬剤散布を実施し、移植後は水深を4cm(理想は1cm)以下に維持する浅水管理を実施してください。

梅雨の時期ですが、降雨により水位が上昇するとスクミリンゴガイによる食害が助長されることから、大雨の時には水管理に注意してください。なお、一旦定着したスクミリンゴガイを根絶することは困難なこと、また周辺の水田にも悪影響が及ぶことから、除草目的であっても、未発生地域や被害防止に取り組む地域でのスクミリンゴガイの放飼は行わないでください。

・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

・スクミリンゴガイの防除支援マニュアル

参照URL:<https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/applesnail/start>

・イネカメムシは、斑点米だけでなく不稔被害も引き起こす斑点米カメムシ類の一種であり、令和6年度は37都府県で確認され、イネカメムシによる減収被害が生じた地域も報告されています。イネカメムシによる不稔を防止するためには、他の主要な斑点米カメムシと異なり、出穂期から防除することが重要です。過去から発生量が多く被害が懸念される地域や発生量が増加傾向の地域では、不稔を防止するため、出穂期の防除を実施してください。

また、イネカメムシは、稲を好んで加害することから、防除が行われていない水田（飼料用米等）、周囲より出穂が早い品種又は遅い品種の水田は、集中加害を受けることがあることから、これらの水田はよく水田内を観察し、発生に注意してください。

麦

麦で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
麦	赤かび病	関東、甲信、東海	

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・赤かび病の発生が、関東、甲信及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、栃木県、埼玉県、長野県及び岐阜県から注意報が発出されています。本病は、感染しやすい時期を捉えた防除が重要であり、下表のとおり、麦の種類ごとに防除時期が異なります。昨冬から今春にかけて気温が高かった地域では、麦の生育が当初の予測よりも早まる可能性があります。都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、地域ごとの防除適期を確認して的確に防除を実施してください。なお、防除適期に降雨が続く場合は、降雨の合間に確実に防除を実施してください。

麦の種類	最初の防除を行う生育時期
小麦	開花を始めた時期から開花最盛期まで
二条大麦	穂揃い期の10日後
六条大麦	開花を始めた時期から開花最盛期まで

いも

いもで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
ばれいしょ	アブラムシ類	北海道	東海

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**アブラムシ類**の発生が、北海道の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。発生密度が高くなってからは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
きゅうり	べと病		北東北、関東、北陸、近畿
トマト	コナジラミ類	東海	北関東
アブラナ科共通	コナガ	北海道、北東北、北陸	甲信、近畿、四国
作物共通	オオタバコガ	東海、四国、近畿	
	シロイチモジヨトウ	北関東	四国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

アブラナ科共通

・**コナガ**の発生が、北海道、北東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されており、岩手県、秋田県及び石川県から注意報が発出されています。生育が進んだ幼虫では、殺虫剤の効果が劣ることから、ほ場を見回り発生状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

作物共通

・**オオタバコガ**の発生が、東海、四国及び近畿の一部の地域で多くなると予想されており、大阪府、奈良県、徳島県及び香川県から注意報が発出されています。都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、適期に防除を実施してください。結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かんきつ	かいよう病	東海、北九州	
	そうか病	東海	南関東、南九州
なし	アブラムシ類	南東北	北関東、東海、中国
	シンクイムシ類		関東、東海、北九州
	黒星病		南東北、北関東、北陸、東海、近畿、中国
果樹共通	果樹カメムシ類	北東北、南関東、東海	甲信、近畿
茶	チャノミドリ ヒメヨコバイ	東海、南九州	北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹共通

・**果樹カメムシ類**の発生が、北東北、南関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、神奈川県、山梨県、岐阜県及び愛知県から注意報が発出されています。山林等の越冬場所から離脱した成虫が餌を求めて移動し、果樹全般を加害します。本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にしつつ、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。果樹カメムシ類は、薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方に薬剤散布を行うと効果的です。スギ林やヒノキ林の隣接園地では、被害が多くなる傾向があることから、特に飛来状況に留意しましょう。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和7年5月15日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
5月15日	大阪府	なす科果菜類、うり科果菜類、あぶらな科野菜、花き類など	オオタバコガ
5月15日	石川県	—	コナガ
5月15日	徳島県	野菜類(特に夏秋ナス、雨よけトマト・ミニトマト、スイートコーン(未成熟とうもろこし)、オクラ)	オオタバコガ
5月16日	岐阜県	麦類	赤かび病
5月16日	岩手県	あぶらな科野菜	コナガ
5月16日	埼玉県	ムギ類	赤かび病
5月19日	香川県	ナス、トマト、ミニトマト、キュウリ、スイートコーン、オクラ、キク、カーネーション等	オオタバコガ
5月20日	栃木県	小麦、六条大麦	赤かび病
5月22日	秋田県	キャベツ	コナガ
5月22日	愛知県	果樹全般	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤオアカメムシ)
5月23日	山形県	おうとう	灰星病
5月23日	岐阜県	果樹(ナシ、モモ、カキ、リンゴ、ミカン等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ越冬世代成虫)
5月28日	神奈川県	果樹全般	果樹カメムシ類
5月29日	長野県	小麦	赤かび病
5月30日	熊本県	トマト・ミニトマト	トマトキバガ
6月2日	山梨県	果樹	果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ)

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
6月2日	宮崎県	かんきつ	黒点病
6月2日	宮崎県	茶	カンザワハダニ
6月2日	奈良県	キク	クロゲハナアザミウマ
6月2日	奈良県	ナス、トマト、きく等の野菜類・花き類	オオタバコガ
6月4日	沖縄県	さとうきび	メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ、イネヨトウ)
6月4日	沖縄県	さとうきび	黒穂病

注) 警報を公表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

■ 特殊報

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
5月19日	埼玉県	キウイフルーツ	キウイフルーツかいよう病 (Psa3 系統)
5月28日	鹿児島県	※	セグロウリミバエ
5月30日	岡山県	水稻	ナガエツルノゲイトウ
6月4日	長野県	カーネーション	カーネーションベと病

※トラップへの誘殺

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合であって、従来と異なる防除対策が必要となるなど、生産現場への影響が懸念される場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法により、重要病害虫発生時の通報が規定されています。我が国未発生又は我が国の一部のみが発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL:<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病害虫防除所の連絡先

参照URL : <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

- 第4号：令和7年7月9日（水曜日）
- 第5号：令和7年7月23日（水曜日）
- 第6号：令和7年8月6日（水曜日）
- 第7号：令和7年9月10日（水曜日）
- 第8号：令和7年10月8日（水曜日）
- 第9号：令和7年11月12日（水曜日）
- 第10号：令和8年3月11日（水曜日）

(参考) これまでの発表

- 第1号：令和7年4月16日（水曜日）
- 第2号：令和7年5月14日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、古澤

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382